

## ZANDEN Model 120 の展開(88) ーベーターヴェンを聴き直す(23)ー

### 1. 始めに

前報(87)に引き続き、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤を聴き直していきます。

### 2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス/バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス/バランス変換プラグ)→(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。また、LP-12 の軸受けをカルーセルに更新しています。

音源としては、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤から選んでいきます。

今回は、ベーターヴェンの交響曲第 3 番を選定しました。

#### CBS SONY 28AC 1178

交響曲第 3 番変ホ調作品 55 「英雄」  
ズビン・メータ指揮ニューヨークフィル

#### COLUMBIA RS-115

交響曲第 3 番変ホ調作品 55 「英雄」  
ブルーノ・ワルター指揮コロンビアシンフォニーオーケストラ

これらは、下記で聴いています。

[アナログ再構成後の活用\(39\)](#)

[アナログ再構成後の活用\(40\)](#)

### 3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、ZANDEN 社から提供されたリストを参考にして選択していきます。

メータ盤は、Columbia、逆相、第4時定数 Low で聴いていきます。

若いメータとニューヨークフィルのコンビで、歯切れよくきびきびとした展開です。デジタル録音ですので、湿度感には欠けますが、すっきりとした音色です。

ワルター盤は、Columbia、逆相、第4時定数 High で聴いていきます。

録音も古く、盤質もあまり良くありませんが、実に潑瀾とした躍動的な演奏です。

ワルターが米国にわたって、映画音楽をやっていたようなメンバーを集め、ここまですげ上がったという力量に敬服します。

#### 4. まとめ

これまでの試聴同様、前報(24)で報告しましたように ZANDEN Model 120 の導入などの効果があって、上記の曲の演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上